

新型コロナの危険の中で学ぶ子どもたちに、

少人数学級と豊かな学校生活を

少人数学級化を求める教育研究者有志の方々が作成したパンフレットが届きました。不定期になりますが、内容を連載していきます。今回は第2回となります。

お読みいただいて、少人数学級実現に向けて、ご協力いただけたらと思います。

少人数学級で感染症にも強い安全・安心な学校を

40人では3密

文科省「学校の新しい生活マニュアル」は、席の間を最低でも1メートル程度あけることが必要としています。でも40人ではそれも無理です。



(箕面市資料)40人では一箕面市の学校の例 (教育再生実行会議2020年7月20日資料)

再びの感染症拡大にも

新型コロナウイルス感染症の再びの拡大や、新しい感染症の襲来も予想されています。長期休校で再び子どもの学びを止めることがないよう備えが必要です。少人数学級の体制はきわめて重要です。

● 研究チェックポイント ●

- A できるだけ新しい研究 (統計手法やデータの発掘は急速)
- B 日本のデータを使った研究 (国によって教育の制度やしくみは違う)
- C 全国データを使った研究 (日本国内でも地域によって様々な違いが)
- D 家庭背景も考慮した研究 (子どもの家庭背景によって少人数学級の効果が違う)
- E 子どもの多様な側面に注目した研究 (少人数学級の「効果」は学力以外にも様々な)

● 研究結果の例 ●

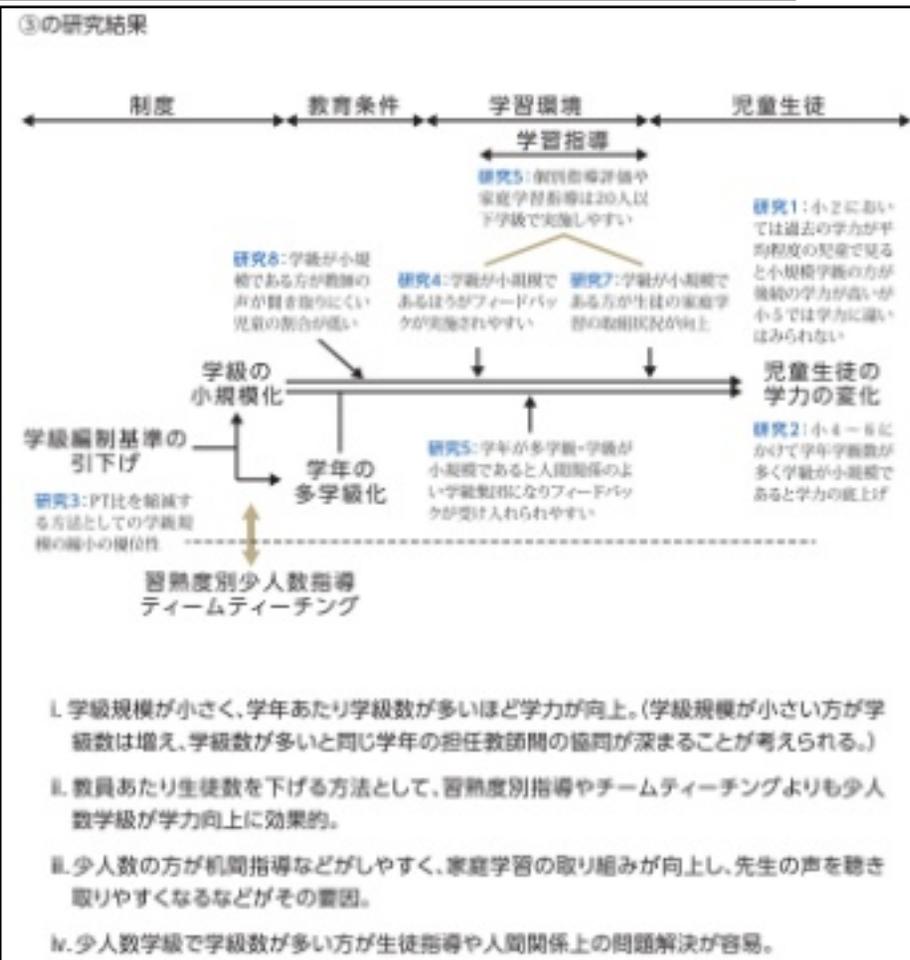
	研究チェックポイント					研究結果概要
	A	B	C	D	E	
①	○	○	○	○	△	国語・数学とも、少人数学級ほど成績が高く、特に家庭背景が不利な生徒が多い中学校でその効果がはっきり表れる
②	○	○	×	×	○	学級の人数が大きくなると、学業成績が下がり、教師からの指導や支援が少なくなり、友だちからの手助けや仲の良さが低下し、子どもの居うつ傾向が強くなる
③	△	○	△	△	○	次頁に別記

日本の全国データを用いて生徒の家庭背景(豊かさなど)をも考慮した最近の研究では、少人数学級は全体の学力を向上させますが、特に家庭背景が不利な子どもが多い学校で効果をもっています。

少人数学級の効果最近の研究でわかってきたこと

学力だけでなく、教員と子ども、子どもどうしの関係や、子どもの気持ちにいい影響をもっていることを示す研究結果が数多くあります。

夏休み明けに不登校や保健室登校の子どもが増えた学校は、小学校20%、中学校24%。感染予防のために子どもを登校させない保護者がいる学校は、小学校14%、中学校16%、特別支援学校25%。(日教組調べ、NHK2020年10月14日報道)



泉北教組女性部

12月5日、毎年大好評の『泉北教組女性部ガーデニング』が開かれました。今年もリル・シュル・ラ・リングさん(072-440-2887)の寄せ植えをしました。

講師の先生に「いいねい」に教えてもらいながら、植木鉢に8種類もの色とりどりの植物を植えていただきました。年末から正月にかけて飾っておくのにぴったりのステキな寄せ植えができました。

泉北教組に加入して子どもと教育を守ろう！